

文部科学省「グローバルCOEプログラム」とは、2002年度から文部科学省において開始された「21世紀COEプログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究拠点を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力ある大学づくりを推進することを目的とする事業です。

## 「生存学」創成拠点

### ◆ 中核となる専攻等名

先端総合学術研究科先端総合学術専攻

### ◆ 申請した分野

学際、複合、新領域

### ◆ 拠点リーダー

立岩真也（先端総合学術研究科 教授）

### ◆ 研究概要

病や、老い、障害など、ままならない身体とともに生きること。それは、福祉や医療の援助の対象である前に、人々が生きていく過程であり、生きる知恵や技が創出される現場です。

その人々の経験や語りを集め、社会との関わりを解析し、人々のこれからの生き方を構想し、あるべき社会・世界を実現する手立てを示す——それが「生存学」です。自然科学と人文社会科学のはざままで分散し埋もれていた情報をデータベース化し、それをもとに本格的な学問的考察を行い社会に発信します。

本拠点は、障害者や患者本人が研究の担い手として活動する場と方法を構築します。技術者との橋渡しや、NPO・NGOの活動にも注目し、現在の社会で生き難い人々が生きるために必要な援助や政策はどうあるべきか、構想し提案します。

### ◆ 事業推進担当者（所属研究科：先端総合学術研究科、文学研究科、応用人間科学研究科、社会学研究科）

立岩真也、小泉義之、大谷いづみ、栗原彬、西成彦、渡辺公三、松原洋子、遠藤彰、佐藤達哉、中村正、望月昭、天田城介、後藤玲子、Paul Dumouchel、林達雄、松田亮三、崎山治男

### ◆ 評価された点（グローバルCOEプログラム委員会のコメントより）

「生存学」という、ユニークで現代が直面する研究課題を掲げて、その教育研究拠点を形成しようとする、大変有意義なプログラムであることです。

人材育成面においては、障害を持つ人やそれを支援する人たちなどが、自身が抱える課題を探求できる体制を整え、これを研究成果として形を与えようとするもので、実践的である点です。

### ◆ 立命館大学 グローバルCOE・関連 ホームページアドレス

「生存会」創成拠点 <http://www.arsvi.com/>

（文献・人物・事項・催しなどの情報データベース）

ぜひご覧ください。すでに多くの院生が研究に取り組み、生存学HPにデータを積み上げています。院生たちの研究も紹介しています。

生存学研究センター <http://www.ritsumeai-arsvi.org/>（2011年4月よりリニューアル致しました）

